

ハスノヤネ

竣工：2016.02	所在：兵庫神戸市垂水区	設計監理：y+M design office
構造：木造軸組構法	階数：地上 2 階建	用途：専用住宅
敷地面積：144.01㎡	建築面積：71.90㎡	延床面積：89.25㎡



柱・梁には県産桧材を使用し、空間にアクセントを与えている



ダイニングからテラス方面。棟のラインのズレから光が入る



外観

街との距離感と連続性を持つ終の住処

敷地は 1980 年代に造成された住宅地にあり、区画割で矩形の敷地を取った後に残る不整形な敷地である。

建主は造成時よりこの地に暮らす夫婦で、当時小さかった子供たちはそれぞれ家庭をもち、以前の建物は 2 人暮らしには部屋数が多く、2 階部分をもて余していた。奥行きが浅い敷地に対して閉鎖的な外観で圧迫感を感じさせるものであったが、本計画は軒高を低く抑え、道路に面する空間を街に対して開くこととした。建主が求める終の住処として、住宅地ならではのコミュニティが存在するからこそ、街との距離感を適度に保ちつつ、プライベートからパブリックへと連続的に繋がる住まいがふさわしいと考えた。

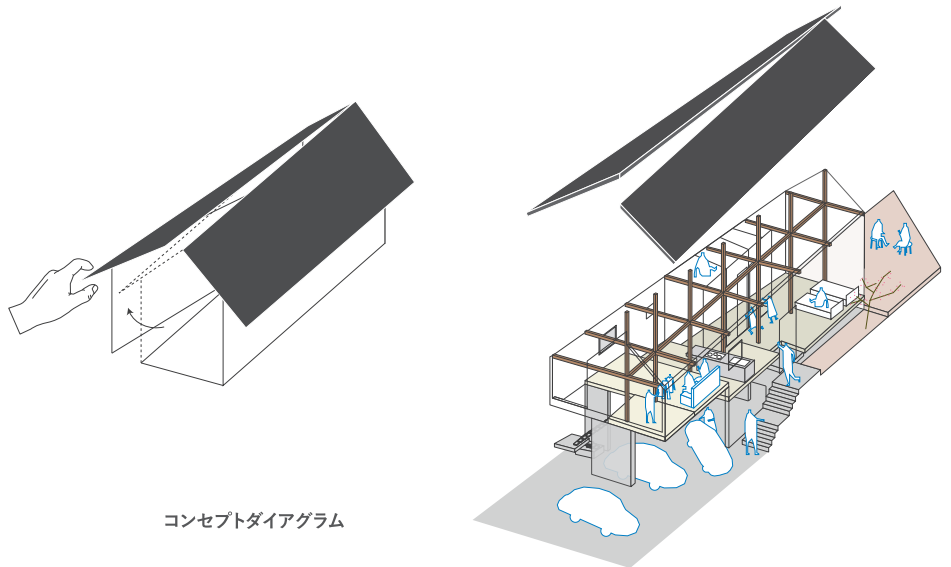
細長い敷地に屋根を建ぺい率いっぱいに架けるため、敷地に沿った外壁からそれぞれ勾配屋根を架けると、敷地境界線が平行でないため棟のラインでズレが生まれる。また南北の妻面の壁面積の差や、スキップフロアによる床の段差など、それぞれのズレを「開口」とした。

車やバイクいじり、釣り、味噌づくり、日曜大工など、多趣味な建主が、近隣の方と雑談をしながら退職後の時間を過ごせるように、道路に面した半地階を駐車場（作業場）と趣味室としている。1 階が主な生活空間であり、軒高を低く抑えたことで北側でも陽のあたるデッキテラスから、寝室、玄関ホール、ダイニング、リビング、テラスまで、内外が緩やかに繋がる一室空間をスキップフロアにより適度に分節している。また斜（ハス）に構えた 2 枚の勾配屋根による天井高さの変化、屋根の裂け目の高さが変わることで採光に変化が生まれ、各ゾーンで空間の質がグラデーションのように変わっていく。90mm 角の桧材でつくられたグリッドに沿った柱と梁が、室内空間の変化を強調する。

「床」、「屋根」を操作することで生まれた様々な「開口」によって、室内から屋外へ、プライベートからパブリックへシームレスに繋がった空間は、街との距離感と連続性という両義性を持つ終の住処となる。

使用木材について

構造材となる柱・梁を県産桧とし、屋内中央に連続して配置している。クリア塗装仕上げとすることで、桧の風合いをダイレクトに感じることができる。モノトーンな外観にもアクセントとしてあたたかさを演出し、内観では桧特有の香りと安らぎをもたらしている。



コンセプトダイアグラム



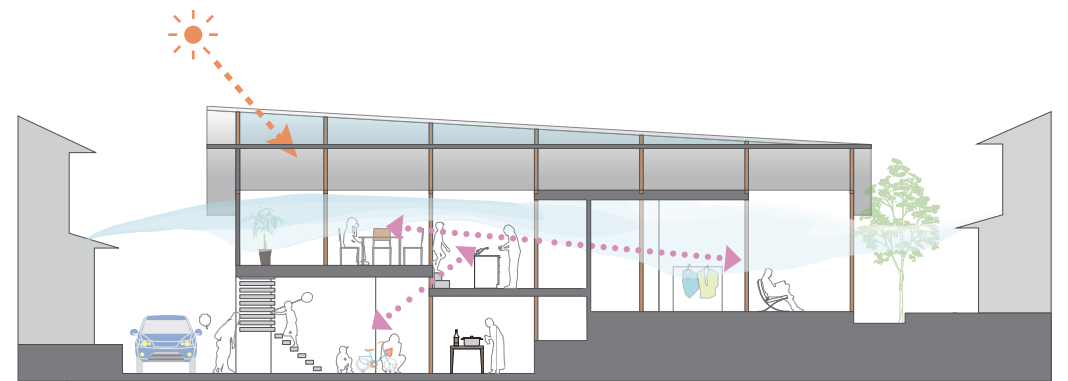
リビングから北側。桧の柱と梁が室内空間の変化を強調する



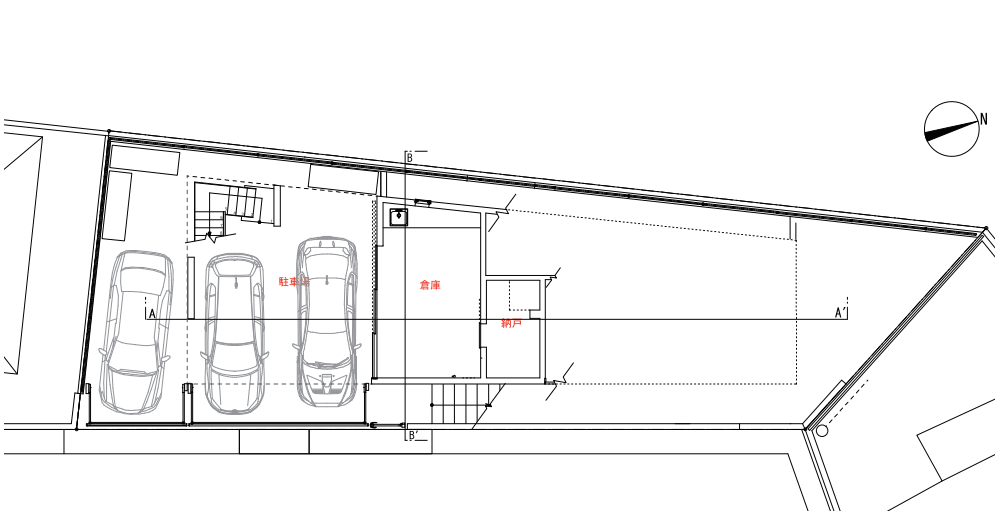
南側外観



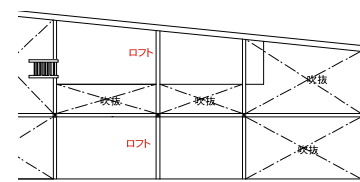
ハスに構えた勾配屋根のスキマから光が入る



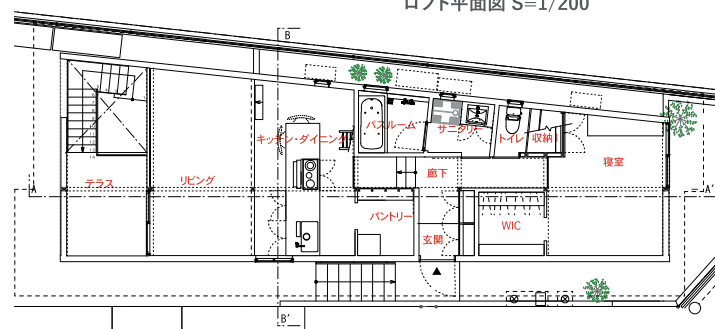
光と風のダイアグラム



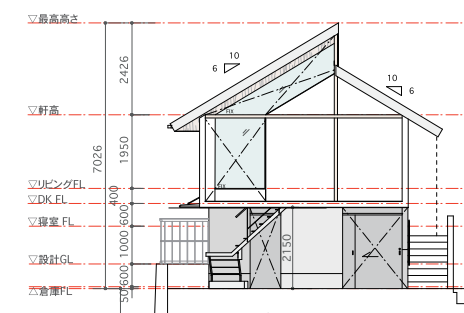
配置・半地階平面図 S=1/200



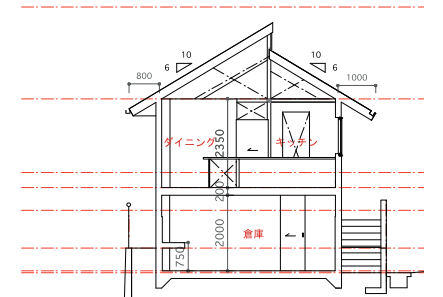
ロフト平面図 S=1/200



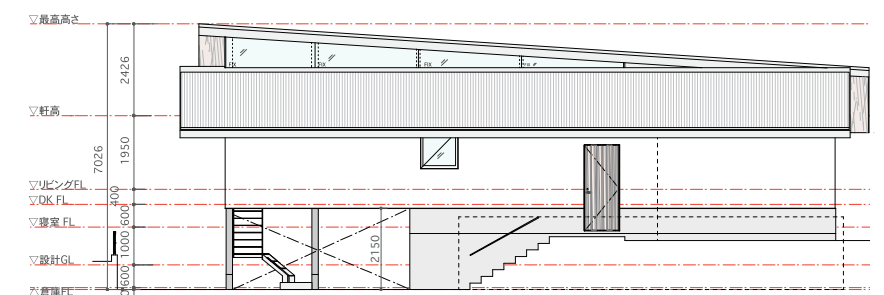
一階平面図 S=1/200



南側立面図 S=1/200



B-B'断面図 S=1/200



東側立面図 S=1/200